

公表:令和 5 年 2月 9日

事業所名 こども支援センターハイジ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容によって3つの教室を使い分けながら、効果的な支援になるよう工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか		○		配置基準4:1を遵守し、且つより良い支援につなげるために、必要な人数を加配して支援しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			共通に必要な視覚情報と個別に必要な視覚情報を区別しながら	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			コロナ対策として定期的な清掃、換気、消毒等しながら、安心して過ごせる空間になるよう努めています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			朝礼や日々のスタッフ間コミュニケーションの中で目的を明確にしながら支援が展開できるようにしています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回アンケートを実施させていただき、相談を重ねてきております。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			結果を玄関に掲示させていただき、ホームページにも記載させていただいています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今年度は福祉監査課の方に資料提出という形で、評価していただき、評価結果を業務改善につなげています。	今後義務化されていくマニュアル等の整備を順次進めております。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月1回ずつ園内研修と月例会ミーティングを行っている他、相談員研修、伊達市内の部会参加、児童発達支援管理責任者の養成研修、その他外部研修にも参加しています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか		○		相談員さんが行ったアセスメント結果を軸に、初回の計画作成を行い、その後はご家族や本人と相談しながら計画作成を行っています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	独自にアセスメント表を作成し、聞き取りや卒園児の引き継ぎ資料として活用しています。S-M社会生活能力検査ができるよう準備を進めてきたので、今後活用していきます。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		本人支援を中心に具体的な支援内容を検討して実施しています。支援計画とはまた別にご家族と相談しながら、家庭生活での工夫の仕方や子ども園との併用についてなど進めております。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画作成担当の職員だけでなく、現場職員も一緒に相談しながら支援計画を作成することで、計画に沿った支援が行われやすいようにしています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			担当職員を中心に朝礼その他打ち合わせの時間を使って複数名で相談しながら毎日プログラムを相談、確認しています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月歌を変えたり、季節感が味わえるような活動を積極的に取り入れています。運動の時間はお子さんの発達に合わせて、毎日内容を変えて行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別療育の時間と小集団療育の時間を分けて支援を行っています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			午前の部に関しては朝礼で打ち合わせを毎日行っています。午後の療育は担当職員が1名のため、管理者、児発管、日中一時支援担当者等と相談しながら支援を進めています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		他の事業との兼ね合いで、支援終了後すぐには打ち合わせできませんが、退勤前の時間などを使ったり翌日の朝礼の時間を使って共有しています。午後の部の療育については、週に1回ケース会議を行っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			生活の記録にその日の療育内容やお子さんの様子を記入し、ご家族に見ていただけるようにしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に担当職員や計画書作成担当者、相談員と打ち合わせを行い、モニタリング報告及び新しい計画書作成を行っています。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		管理者、児発管、担当職員のうち、適切と思われる職員が参画しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○		必要に応じて、行政の担当部署の方と連携をして支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	今年度は該当者なしです	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	今年度は該当者なしです。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		並行通園されているお子さんについては、ご家族に了承を得たうえで、ハイジスタッフがかども園や保育園を訪問させていただき情報共有等させてもらっています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			就学を迎えるお子さんについては、就学咳や放課後等デイサービス事業所への引継ぎのための資料を作成し、保護者様を通じてお渡ししていただいたり、必要があれば、見学に来ていただいたり、対面での引継ぎも行っています。	

②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			他の専門機関からの研修にオンラインで参加させていただきました	
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		

保護者への説明責任等	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			月1回実施されている伊達市のこども部会に代表者が出席しています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			登園・降園の際にお話しさせていただいています。必要に応じて電話でお話させてもらったり、お手紙でのやり取りをさせてもらっています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		連絡帳を通して相談いただいた際や玄関先で相談いただいた際に、必要に応じて各種提案をさせていただくことがあります。	保護者の皆様のニーズをお聞きしながら、共通するものについては、おたよりを準備して情報発信をしていきたいと思います。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		契約時に、事業所概要、契約内容、重要事項説明を実施しています。	災害時の対応についてや、体調不良の際の対応等については定期的にご家族様にお伝えしたほうが安心いただけると感じています。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		○		支援計画の内容について、ご確認いただいたのちにサインをいただくようにしていますが、説明に関しては十分でないことがあると思いますので、今後検討していきたいと思っています。	児童発達支援計画のフォーマットを改訂し、より具体的かつ多面的な支援内容にしやすいと思います。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご家族様から相談の依頼を受けた際はなるべく早くお話を機会を設定するようにしています。	ご家族にとって必要なお話ができていないかに関しては勉強不足なことも多々ありますので、研鑽を重ねて参ります。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者会等はハイジにはございません。	情報交換の場や学びの機会については、今後検討して予定です。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			お子さんや保護者の方からの相談や申し入れに関する窓口は管理者に一本化することで、なるべく早く対応できるようにしています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月ハイジ新聞を発行し、活動の様子等お知らせしています。その他必要なお手紙は別途作成して配布させていただいております。	
非常時等の対応	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			スタッフ研修で守秘義務について周知しております。	
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子さんの発達や特性によって、伝え方を変えています。ご家族との情報共有については、毎回連絡帳を通してやり取りさせていただいています。	
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		同法人内の高齢者施設に敬老の日のプレゼントを作ったり、町内会長さんとコミュニケーションを取りながら情報収集・地域交流を進めています。	
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		スタッフ用に作成しているマニュアルについても、契約時ご家族様にお渡しをしています。また、スタッフについては朝礼や月例ミーティングの時間等を使いながらマニュアル内容の確認を行っています。	
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			地震・火事・河川氾濫等様々な災害を想定した訓練と打ち合わせを重ねております。	
非常時等の対応	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			入園児の提出書類にて確認させていただいています。また、入園後服薬等開始された方については適宜情報提供をお願いしています。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			契約時に各種アレルギーの有無について確認をさせていただき、必要な対応をさせていただいています。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		毎日の打ち合わせの中で、安全面の配慮が必要なこと等情報共有しています。	ヒヤリハット報告書の活用は不十分なので、引き続き検討していきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			今年度より法人内に虐待防止委員会が設置されました。また昨今の不適切保育の情報を共有し適切な支援の在り方についてミーティングを	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		身体拘束が必要な状況について、園内研修を行いました。現在該当するお子さんはいらっしゃらないので計画書記載はありませんが、引き続き不必要な身体拘束が発生しないよう周知していきたいと思います。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。